



第1124号  
2009年5月24日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nskk.org](mailto:comm.tko@nskk.org)  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

司祭 ヨハネ 佐藤 信康

東京教区退職司祭。5月16日逝去。79歳。18日・19日、聖パウロ教会で葬儀。1954年聖公会神学院卒業、55年司祭叙任。聖教主、千住、聖ヨハネ、聖ガブリエル、聖ペテロ、神田、聖パウロ各教会牧師を歴任。その間、諸教会の管理牧師を務めたほかGFS、東京教区婦人会等のチャプレンも。定年退職後の4年間、北海道教区で嘱託司祭として奉職、その後昨年まで聖マルチン、聖愛両教会で嘱託司祭。また長年、ボーイスカウト活動に従事して要職にも。召された魂のうえに主の平安がありますように。

▽教区人権週間講演会「あ

今週・来週の予定  
5月24日～6月6日

- 24(日) 復活節第7主日  
(昇天後主日)  
主教巡回  
聖オルバン教会  
教区合同堅信式
- 26(火) 銀座朝拝会  
IT特別委員会  
礼拝音楽委員会
- 27(水) 教役者聖餐式
- 29(金) 月島将来計画準備室
- 31(日) 聖霊降臨日  
主教巡回  
聖マーガレット教会  
城南G教会協議会 (三光)  
下町G教会協議会 (千住基督)
- 6月  
2(火) 教区企画室

▽金宮黎樹(聖ヨハネ)

- 4月26日 浅草聖ヨハネ教会
- 4月27日 安藤 嘉彦(85) 池袋
- 4月28日 宮城 清(93) 聖アンデレ
- 4月29日 聖パウロ
- 4月26日 中川 秀恭(101)
- 4月27日 安藤 嘉彦(85)
- 4月28日 宮城 清(93)
- 4月29日 聖パウロ

◆とこしえの平安

- 4月26日 中川 秀恭(101)
- 4月27日 安藤 嘉彦(85)
- 4月28日 宮城 清(93)
- 4月29日 聖パウロ

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

この2月に父が神様のもとへ急に召された折に、悲しみの底にあった私たちは、想像も出来なかつたほど多くの方々から『慰め』をいただきました。

不思議なもので、訪れて下さった方と顔を会わず度、悲しい気持ちには嬉しい気持ちへと変わっていき、流す涙はいつの間にか嬉し涙になっていました。

《み手のなかで》

悲しみは喜びに

聖職候補生 倉澤一太郎

は本当に驚きであり、それ故に大変な嬉しさでもありました。思わず私は「どうして？」と尋ねました。「一昨年、母を亡くした時に君が来てくれた。正直、意外だったけれど、君の顔を見たとき、凄く嬉しくなりました。それが彼の答えでした。どうやら、私は自分自身も知らない間に、彼の悲しみが「喜び」に変わるための、神様の道具となっていたようです。そして神様は私の苦境の時に、今度は彼によって私の悲しみを喜びに変えて下さいました。彼と私は共にたとえ様のない悲しみを経験しましたが、同時にたとえ様のない喜びも経験したのです。神様によって与えられたこの喜びは、私と彼の心に刻まれ、決して消えることは無いと確信できるのです。

そんな彼がわざわざ訪れてくれたこと

(聖愛教会勤務)

## 正義と平和協議会運営

委員会報告 (5月11日)

\* 国連女性会議参加者費用関連  
3委員会分担、次年度以降管区  
予算計上申入れなどの協議。

\* 信仰と生活委員会青年支援部  
会活動、とくにCOAへの支援  
についての活動報告・協議。

\* 浅草日曜給食活動についての  
現況報告。

\* 次回正義と平和協議会・講演  
会の開催(7月11日・土・講師  
||カトリック本田哲郎神父)に  
ついて進捗報告と継続審議。

\* 平和メッセージの次号発行企  
画(7月26日配布予定)。  
\*その他。

▽東京聖テモテ教会《ペンテ  
コステ・ヴィジルの礼拝》 5

月30日(土)18時、み言葉と賛歌  
と祈りと黙想：。司式・説教は  
竹内謙太郎司祭。会場Ⅷ03(3  
811)5836。

## ▽聖公会神学院特別講演会

塚田理司祭(東京教区・退職・  
元立教学院院長・スイス在住)  
の来日を機に、「日本聖公会初期  
伝道から何を学ぶか」ウィリア  
ムス主教とピカステス主教を中  
心にく」と題する公開講演。6  
月4日(木)19時〜21時、同院  
大教室。参加費無料。定員40人  
(先着順)。申込み・照会Ⅷ03(3  
701)0575。

## ▽礼拝音楽委員会オーガニス

ト研修会「奏楽のよろこび」  
奏楽の技術とともに「奏楽の  
心」(礼拝における奏楽者の役  
割)を学ぶ。6月6日(土)10

時半〜16時半、聖マルコ教会。  
参加費千円。講師・崎山裕子(立  
教学院オーガニスト)、話・前田  
良彦司祭。小型パイプオルガ  
ン、電子オルガン、ピアノの用意  
が、また演奏希望者には課題曲  
(聖歌・チャント・前後奏曲から  
1曲)配布チラシ参照)が。照  
会・申込などは清瀬聖母教会・宮  
崎光司祭宛(5月末日締切り)、  
Ⅷ042(493)7472。

## ▽阿佐谷聖ペテロ教会チャリ

ティーコンサート||パレスチナ  
の子どもたちを支援するために  
6月6日(土)16時〜17時  
半、協賛券千五百円。演奏||5  
弦ウッドベース・水野俊介、箏・  
稲葉美和。共催||サラーム・パ  
レスチナ。会場Ⅷ03(333  
8)4145。

## 【クローズアップ】15

## 国連婦人会議に出席して

第53回国連婦人の地位委員会  
(CSW)が3月2日から13日  
までニューヨーク国連本部で開  
かれ、葛飾茨十字教会の佐々木  
紀久江さんと参加しました。

今年のテーマは「エイズのケ  
ア提供を含む男女間の責任分  
担」。NGOの聖公会中央協議会  
(ACC)からは、世界各国10  
8名の女性に参加しました。参  
加者の約40%がアフリカから  
で、関心の強さを感じました。

私たちが派遣された理由は、  
3年前にタイのチェンマイにあ  
るエイズのシェルター「バー  
ン・サバイ」の落成式に出席  
し、その後「バーン・サバイ共

の会」を立ち上げて、エイズ問  
題に係わってきたからだと思  
います。

日本のNGOの参加者の発表  
は、高齢化社会における介護  
や、介護保険、また産休・育児  
休業による会社の不利益という  
問題に重点が置かれていまし  
た。会議前の予備セッションで  
は30数カ国の参加者が事前に提  
出したレポートを発表しまし  
た。ACCの参加者は、毎日そ  
の日の感想をレポートにまとめ  
て提出するよう求められました  
。会議は毎朝8時から時には  
夜の8時まで続き、目の回る忙  
しさを覚えました。しかし学ぶ事  
も多く、充実した毎日でした。会  
中には、国連の潘基文事務総長  
が本会議場で挨拶をし、また、

米国聖公会のシヨール総裁主教  
も私たちの労をねぎらってくれ  
ました。参加者の中には非英語  
圏から来た人々も多くいまし  
ましたが、流暢な英語で活発に意見  
を述べ、きびきびと行動する若  
い人々の姿が際立っていました。  
特にアフリカからの若い参  
加者が会議中もパソコンを駆使  
していた様子には目を見張らせ  
るものがありました。日本聖公  
会も国際会議で堂々と意見を述  
べることの出来る人材の育成が  
必要だと強く感じました。

参加に際し、多くの方々か  
ら多大なご支援をいただきま  
した。心からお礼を申し上げます。

聖オルバン教会

吉松さち子